

企業経営をトータルサポートする

July 2009

# 長野法人会報 7



経営者シリーズ ● トップかく語りき

Yoshihiko Hashimoto

## 橋本 良彦氏

七味温泉ホテル株式会社  
代表取締役



七味温泉ホテル株式会社  
 上高井郡高山村七味  
 TEL 026-242-2921 FAX 026-242-2659  
 創業 昭和58年12月  
 資本金 1,000万円

社内で回覧しましょう！

### 自分の足で情報発信していけば不況も克服できる。

高山温泉郷最奥にあり“深山幽谷の秘湯”といわれる七味温泉。いくつもの源泉それぞれ泉質が違い、湯の味も変わるところにその名の由来があるという。横浜出身の橋本良彦社長がここで古い旅館を手に入れたのは昭和57年のことだ。

「横浜でサラリーマンをしているより憧れの田舎で何かやりたい、と全額借り入れて始めたんです」

以来、旅館経営にまい進。平成3年食事処の建設、7年全館新築・改装、17年改装と思切った投資を行う。また平成5年には経営が行き詰まった近くの蔵温泉旅館の経営も引き継いだ。

橋本社長がこだわるのは温泉そのもの。JR東日本の「地・温泉」企画商品に東日本エリア29の湯の一つに選

ばれたのも、源泉かけ流しの伝統的な湯を誇りに思い愛情を注ぐ「湯守」のいる温泉旅館として評価されたからだ。“歓”に走った有名温泉地の凋落ぶりを見るにつけ、温泉そのものを再認識することが大事だという。

「今お客様が温泉に求めるのは心身の癒し。温泉旅館が生き残るためには、温泉そのものを改めて見直すべきだと思います。そしてインターネットもいいですが、やはり自分の足でコツコツと営業活動に専念すること。それは旅館業だけでなく、一般企業でも同じではないでしょうか。経営者自ら労力となって原点を見つめ直さないと。この厳しい不況も、自分の足で情報発信していけば必ず克服できると思います」

湧出する温泉の有効利用も、温泉

をじっくり見つめるところからアイデアが生まれる。平成20年原油高騰対策として近くの旧国民宿舎跡地を購入し、源泉の温泉熱で全館の給湯・暖房をまかなうシステムを導入。「灯油代を1000万円削減することができました」。

この源泉の湯を生かした、橋本社長手づくりの露天風呂も完成間近だ。隣に設置する水車で水力発電を行い、温泉を汲み上げる動力や街灯などの電力をまかなう予定だ。

「今までただ捨てていた水を生かした発電は本当に環境にやさしい。山間地を流れ下る水を利用したミニ水力発電は現実的です。それを地域全体でもっと考えていければと思うんです」。地域が元気になる素は案外身近なところにあるようだ。

回 覧